



10代の未来さがし講座

「夢をかなえる本の読み方

～もしも、この世に本がなかったら～」

本を読むことがもっと楽しくなる！

中部大学の澤田先生をお招きし、最高の情報伝達手段である読書についてお話を聞きます。

2月29日(土) 午前10時～午前11時30分 文化フォーラム春日井

講師：中部大学講師 澤田裕之氏

定員：中学生対象、先着20名

申込方法：1月18日(土) 午前9時から電話で受け付けます。



12月10日(火) から
1月26日(日) まで
3階展示コーナー 企画展示

「戦国時代」

戦国時代に活躍した武将や当時の生活などを関連する本とともに紹介します。

三英傑人気投票も行っていますので、ぜひ参加してください！



12月26日(木) から
1月8日(水) まで
3階展示コーナー

「本の福袋」

本で運だめし！？どんな本が入っているかは借りてからのお楽しみ。

一般書、児童書それぞれ3冊セットの「本の福袋」を貸出します。



年末年始の休館日は12月29日(日)～1月3日(金)です。

1月4日(土)から通常どおり開館します。

12月17日(火)～12月28日(土)に貸出した本は、貸出期間を延長しています。

利用者カードに印字されている返却期限をご確認ください。



2020年もよろしくお願いたします。



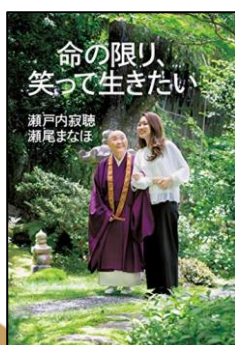
古今東西、数多くの偉大な人がいます。

自分自身のステキな人生の師を探して、
本をめくってみませんか。

今回は、現在でも執筆活動を行う97歳の作家、瀬戸内寂聴さん、105歳まで医学博士として活躍された日野原重明さん、わかりやすい解説でおなじみの池上彰さんの、三人の本を紹介します。

おすすめ本紹介

本でみつける 人生の師



『命の限り笑って生きたい』

瀬戸内 寂聴/著 光文社

914.6/セト/18 (図書館4階一般)

「悪口をいわれるのは才能があるから。」「いろいろな人と会って話せば若返る。」と、現在97歳の著者と31歳の秘書が語り合います。

人生・恋愛・元気の秘訣・優しさなど相手を思いやる心の大切さが感じられる内容です。

京都寂庵での66歳の年の差の女子トーク、のぞいてみませんか。

『生きていくあなたへ』

日野原 重明/著 幻冬舎 159/イ/17

(図書館3階実用/高蔵寺)

105歳の医師 日野原重明が語った
希望と感謝のメッセージ。

最後の力を振り絞り伝えたかった言葉
とは…。

「ありのままにあるがままにキープオン
ゴーイング」。



学び続ける力
池上 彰



講談社現代新書
2188

『学び続ける力』

池上 彰/著 講談社 002/マ/12

(図書館4階新書/ふじとう)

学べば学ぶほど視野が広がり、自分の知らない
ことに会う。すぐには役に立たないことを
学んでおけば「ずっと役にたつ」…。

勉強することの意味や学び続けることを
著者は語っています。

人生の中で学ぶことの大切さに
出会えるかもしれません。

おすすめ本紹介

美術館

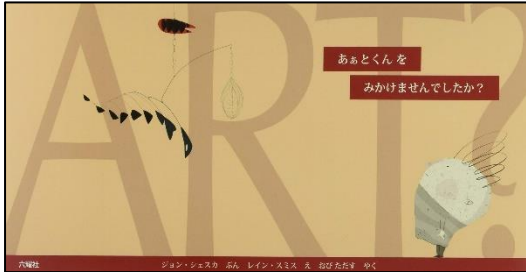
日本には千館以上の美術館があるそうです。
素敵な展覧会がいつもどこかの美術館で開催されていますね。愛知県内の美術館でも、めったに観ることのできない海外の作品が観られる企画展が催されます。美術や美術館を楽しんでみませんか？

『フランス人がときめいた日本の美術館』

ソフィー・リチャード/著 山本 やよい/訳 集英社インターナショナル

706.9/フ/16 (ふじとう)

日本美術をこよなく愛する美術史家である著者が選んだ「本当に訪ねる価値のある」美術館のガイドブック。10年かけて各地の美術館を訪ねて取材を重ね、完成させた本です。日本美術についての解説は詳細でわかりやすく、日本人では気づかない視点から美術館やその建築、美術品の魅力を再発見できます。徳川美術館や豊田市美術館も掲載!! ソフィーズ・ポイントやテーマ別索引をぜひご参考に!



『ああとくんを みかけませんでしたか?』

ジョン・シェスカ/ぶん レイン・スミス/え

おび ただす/やく 六耀社

E / リク / 16 (図書館3階児童/西部)

主人公の少年が、待ち合わせした友達の「ああとくん」を探す物語です。人探しのはずが、気がついたらニューヨーク近代美術館 (MoMA) を巡るツアーに行くことに。ゴッホの「星月夜」、モネの「睡蓮」、ピカソの「牝ヤギ」…。少年と、お客さん (いろいろ話しかけられる) や様々なアート作品との不思議な出会いを描く楽しい絵本です。私たちを MoMA の素晴らしい作品を観る美術館ツアーに招いてくれます。

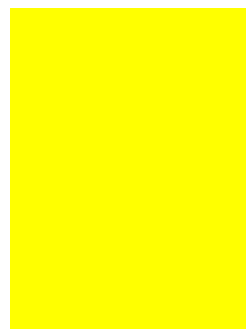
『原田マハの印象派物語』

原田 マハ/著 新潮社

723/ハ/19 (図書館4階一般)

前半は、日本人になじみのある印象派の7人の画家たちの物語。モネ、マネ、ドガ、ルノワール、カイユボット、セザンヌ、そしてゴッホ。光満ちあふれ幸福な色をたたえる印象派絵画の陰にある、世評や貧困と戦いながら新しい道を切り開いた画家たちの短い物語を、美しい作品とともに紹介しています。

後半は、著者がモネの足跡をたどるノルマンディーへの旅の紀行文と、展覧会での絵画との一期一会の出会いを語る対談で構成されています。



おすすめ本紹介

日本の神さま・仏さま

年があけると日本人がこぞって向かう初詣。

冬は一年のなかでも日本の神さまや仏さまとの距離がぐっと近くなる季節です。

すこしだけ神さまや仏さまを身近に感じながら、気分も新たに新年をお迎えしましょう！



『ほっとけない神様図鑑』

栢山 林継/監修 あいうえお館

172/ホ/18 (図書館4階一般)

神様って立派で偉くてとっても頼もしい！…ばかりじゃないのです。怒りっぽかったり無茶ぶりが過ぎたり不幸続きだったり…と、なかなか大変。

この本ではわたしたち人間と変わらない「日本の神さま」がイラストつきで楽しく紹介されています。

自分と似た境遇の神さまを見つけたら親近感わいちゃうかも？



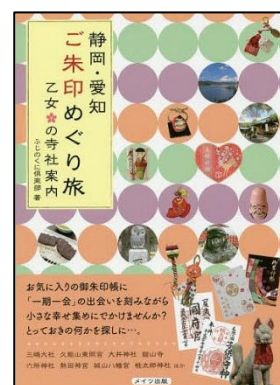
『静岡・愛知ご朱印めぐり旅乙女の寺社案内』

ふじのくに倶楽部/著 メイツ出版 175.9/シ/16 (図書館4階一般)

参拝した印として押印されるご朱印。神社・お寺ごとにたくさんのデザインがあり、威厳があつたりかわいらしかったりとその表情も様々です。

数年前からは「ご朱印ガール」のように、全国のご朱印を求めて旅をする人も増えてきました。

この冬、まずは近くの神社やお寺でご朱印デビューしてみませんか？



『神社とお寺 おいしいお詣りスイーツ』

大浦 春堂/著 講談社

175.9/シ/18 (図書館4階一般)

じっくりお参りした後は…！やっぱりお茶の時間♪

神さまや仏さまと縁のあるお菓子から、門前菓子・祭礼に使われるめずらしいお菓子・おしゃれな寺社カフェなどが掲載されています。

かき氷のお供え（！）をそのままいただくなど、そのバリエーションも様々。

おごそかな気持ちで参拝した後は、ありがたいお菓子とともに心を和ませましょう。

